

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

(単位 人)

回答率 100%

	チェック項目	はい			どちらともいえない			ご意見
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1				・運動系は第一訓練室、静かな遊びは第二訓練室と部屋を使い分けできている。仕切りがあると集中できる環境が作れそう。 ・10人を超える時は少し狭く感じる。 ・適切だと思うが、自由時間の遊び方次第では狭さも感じる。	
	② 職員の配置数は適切であるか	3	2	1			・送迎の関係でスタッフが足りないと感じる時はある。 ・マンツーマン対応が必要な子が多い時は必要と感じる。 ・欠員がなければ大丈夫。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか		5	1			・やむを得ないが2階にあるため階段を上がらないといけない。 同意見多数 ・①でも書いたが、仕切りがあると個別対応の際は良いかも。 ・床や壁にテープ、掲示物など提示するための視覚ツールはある。 ・トイレが男女共用。	
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	1	5				・ミーティングなど振り返りの場はあるが、よくPDCAサイクルについて理解ができていない。 ・定期的に行っているが、もう少ししっかりと行いたい。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1				・毎年実施。 ・振り返りをしている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6						
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1				
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2				・頻繁に実施している。 ・社会人としてはあるが、実践的なものは少ない。 ・研修を行うという話はある。 ・外部、内部共にやっている。内部の研修は昨年よりも増えている。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3				・子どもたちのニーズは引き出し切れていない。 ・面談等で保護者の意向を常に確認している。 ・途中経過のアセスメントはもっと行った方が良いと思う。	
	⑩ 子どもと保護者の行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3				・よくわからない。	
適切な支援の提供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1				・実施する前に全員に周知している。 ・二人一組で相談しながら、またミーティング内で振り返りを行い改善している。 ・立案は担当のみで、全体に共有後他の人の意見を聞き修正している。 ・昨年度よりも様々なスタッフがプログラムに関わり行っている。 ・新しいお出かけ先や、今までに使ったことのない道具を使うなど行っている。 ・毎月、プログラムの内容を表している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6					・行っているが、全員に周知する時間を設けたい。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	4					
	⑭ 子どもに状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	4					
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6					・長期休み期間は朝忙しく、きちんとできないこともあり、前日に確認することもある。	
	⑯ 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1				・当日に時間が無ければ、翌日に必ず行っている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1				・ヒヤリハットノート、ミーティングノートをつけている。 ・記録は取れている。検証、改善の頻度を増やせると良い。	
連携関係	⑱ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断しているか	3	3					
	⑲ ガイドラインの趣旨の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	3				・ガイドラインをしっかりと把握できていない。 ・ガイドラインが新しくなり、周知や共有から行い改善を行っている。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5	1					
	㉑ 学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1				・毎月保護者の方から予定表をもらい、変更がある場合は学校にも直接確認している。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3				・今まではなかったが、今後は連携体制が必要だと思う。 ・医療的ケアが必要な子がいない。保護者から注意事項は聞いている。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2				・保護者から話は聞けるが、園や事業所との情報共有はない。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所からの障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4					
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5				・強度行動障害などに数回研修に参加している。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2			・ログハウスや公園での活動を行った際に、一緒に遊ぶことはあるが、定期的な交流はない。 ・そのような機会も作れると良い。	
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1				・学区の子ども部会に参加している。	
保護者への説明責任等	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6					・家庭での様子を聞いている。	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		6					
	㉚ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	3				・契約の際に説明を行っているが、説明の回数を増やし細かく伝える機会をもっとあった方がよい。	
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6					・面談や送迎の申し送り時に行っている。	
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1			・今年度、一度保護者会を行ったが保護者同士が関わられる場を年に数回開きたい。 ・昨年、小学部の説明会の際に久しぶりに実施。	
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2					
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	6					・毎月お便りを発行して一ヶ月の予定をお知らせしている。 ・詳細はまちcomi(メール)でも発信している。	
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	6						
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1				・口頭のみで難しい時は、書面でもお伝えしている。 ・子どもたちには紙カードなどを使って視覚支援を行っている。	
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	2			・招待する行事はないが、地域のゴミ拾い、地域のイベントの宣伝は行っている。 ・小学部は無いがunilはカサマルシェなど地域のイベントに参加したり朝日新聞さんで活動をしたりしている。 ・保護者への周知が足りないと感じる。	
常時等の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	1				
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1				・毎月行っている。 ・月1回避難訓練を実施している。	
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6						
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1					
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2					
㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6							